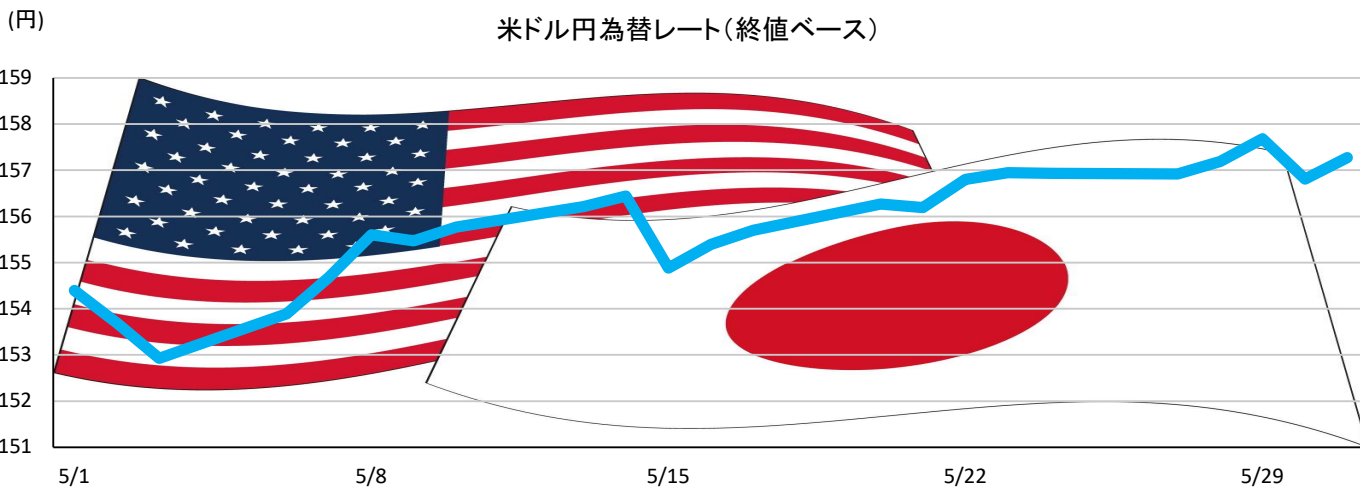


## MONTHLY REPORT

**先月の振り返り：**5月のドル円相場は151円後半～157円後半で推移。4月末に続いて市場介入が行われたことや米経済指標が軒並み市場予想を下回ったことで一段とドル売りが進み151円台まで円高ドル安が進行。しかしドル売りが一巡すると大変動後の買戻しに加え、イエレン米財務長官の市場介入けん制発言などでドル買いが強まり156円台を回復した。その後、米CPI(消費者物価指数)が市場予想を下回り一時153円台に急落したものの、米当局者から強気な発言が相次いだことや植田日銀総裁から金融政策について踏み込んだ発言が無かったこともありドル高基調は続いた。ただドル円が市場介入が行われた水準に近づいたことによる介入警戒感や米GDPなどが市場予想を下回りドル売り圧力が強まる場面も見られた。



## MARKET REVIEW

**金供給：**金の供給としては金鉱山からの産出とリサイクル(二次利用)がある。主な産出国としては、中国、ロシア、オーストラリア、カナダ、米国などが挙げられる。金のリサイクルとしては、宝飾品スクラップや投資家の保有する金現物売却、パソコンやスマートフォンなどの電子機器に含まれる金などがこれにあたる。このリサイクルした金を溶かして99.99%の金に精錬すると、鉱山で生産された金と質的に何ら変わらないため、金価格が上昇すればするほどリサイクル量の増加に繋がる。それでも年々増加している金の需要に対して供給はリサイクルを含めても限りがあるため、金価格は底堅く推移していきそうだ。

今月の主な経済指標 ※日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 18 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
6 / 20 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
6 / 26 (水)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
6 / 27 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
7 / 1 (月)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
7 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 11 (木)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。